

親切な国 ベトナム

6月13日(火)津田公民館で国際理解出前講座を実施し、23名が参加しました。

講師は、JICAのシニア海外ボランティアとして2年間、ベトナムのダラット大学で日本語の指導を行っていた小西裕美さんです。



ベトナムでは、刺繡が有名です。講師は、現地で購入されたきれいな刺繡が入った民族衣装を着て、講義を行いました。

ベトナムは、親切な人が多く、困っている人に手を差し伸べてくれるそうです。講師が道に迷ったときもわざわざその場所まで連れて行ってくれたそうです。あまりに親切で、学生が課題やテストすら助け合い、解答を見せ合ってしまう、という困ったことも経験されたそうです。

ベトナムでは、暑いお昼に昼寝をすることが多いため、朝が早く、午前六時ごろからカラオケの音楽で起こされたそうです。また、予定がギリギリまで決まらず、急な要請が多かったことは、戸惑ったそうです。

講師が実際に現地で撮ってこられた写真を見ながら、ベトナムの生活や観光名所について学ぶことができました。フランス植民地時代の面影が残るベトナムの街並みを見ることができ、旅行をしているかのような気分になりました。

姫路市には、多くのベトナム人が暮らしています。今回の講義が、ベトナム人の国民性や文化についてより理解を深める助力となれば幸いです。